

のではあるまいか。こゝに我等の注意すべきは、英佛外交が常套的に低迷しても、海上封鎖が一層嚴重となるべきことは疑ひを入れず、その封鎖網が太平洋殊にわが近海までに及ぶことありとすれば、影響は如何。我等は英佛が如何なる決意を表示しても問ふ所でないが、事太平洋に關する以上、決して無關心たるを得ない。

△其他(略)「公債消化率鈍る」(國民)、「新中央政府樹立」(都)

本日	の	新聞	概観
----	---	----	----

第百九十三號

内閣情報部報道班

一五、三、三〇(土)

△概観

各新聞も政治面、社會面を通じて還都一色である、「朝日」は不相變落付いた紙面を作つて居るが、「讀賣」「報知」「國民」などは可成り派手な編輯方法をとり、お祭り気分を出して居る、「朝日」「日日」の慶祝使節兩社長は南京で汪精衛氏に面會、慶祝の意を傳へてゐる、「報知」「都」は新政府成立につき特輯ページを作つて居る。

△國內關係

一、各省の機構擴充再検討、外局食糧局設置に反對
 之は各新聞に出て居るが、食糧局設置には内閣二長官が反對、其他問題になつて居るのは、外務省の南洋局、拓務省の開拓局、拓殖局、法制局の勅任次長、内閣情報部の勅任情報官等で、再検討して官廳の擴充を防止しようといふのである、「報知」などはこの問題について紛糾を豫想して居る。

二、精動改組(中外)

委員の顔觸れについて政民三派の總裁、幹事長等の就任を豫想して居る。

△對外關係

1 (3月30日)

218

目星しい記事はなく、「日印本協定に綿業者強硬、一片務的爲替取極改正を要望」(大阪電話)が經濟欄に現はれ、「遣伊使節正式發」(墨國から貿易使節第二陣) (メキシコ同盟)を載せた程度。其他ハースト氏がヤング事件に對する日本當局の態度を是認する論文を發表したといふサンフランシスコ同盟がある。

△東亞關係

一、新政府成立

けふ新政府が正式に成立するので各紙共、賑々しく第一面の大部分を使つてゐる。報道内容は一「朝日」の表題によつて列擧すれば次の如くである。

イ、けふ遷都典禮を舉行、待望の新政府愈々成立(南京同盟其他特電)

ロ、新政綱けふ闡明(南京同盟)

對外和平方案は睦隣政策、反共對第三國政策、對内統一方案は軍事方針、政治方針、教育方針、經濟財政方針、に分つて政綱要點を報ず

ハ、津田連絡部長官談(上海同盟)

ニ、列國に遷都通電(南京同盟)

ホ、華北政務委員會けふ成立、布告發布(北京同盟)

ヘ、國旗に關する支那派遣軍報道部長談(南京同盟)

ト、新政府當面の通貨策(華興券、軍票と流通)(上海同盟)、聯銀券強化、關係各方面で對策を練る(北京同盟)

本クレイギー演説は、新支那政府承認の前提に非ずと英當局聲明(ロンドン同盟)

英外務當局は、クレイギー駐日大使の日英協會での演説は過少評價さるべきもので右を以て英當局の新支那政府承認前提と見做さるべきではないとの聲明をなした。

三、其他

イ、週聞概況(敵兵の糧順増加)(支那派遣軍報道部發表)(南京同盟)

ロ、新疆省主席李榕病死(香港同盟)

△歐米關係

一、歐米關係は餘り重點をおかれてゐないが、「日日」は、對伊國交際要役に佛國がラヴァル氏を特派する。英も對伊通商交渉があるとのローマ特電と、英ソ通商協定交渉をソ聯より正式に提議したとの説(ロンドン特電)をトップ記事とし「朝日」は佛の對ソ態度に硬軟兩様の意見が對立してゐる(ローマ特電)を大きく扱つてゐる程度で、大物記事はない。「讀賣」は、「獨外交政策の核心はバルカンに於ける英ソの衝突」(ベルリン特電)を大きく扱つてゐるが「朝日」論説などが既に觸れたことのみで大したものではない。其他の外電は次の通り。

イ、伊羅通商協定内容公表(骨子は爲替換率確定)(ローマ中外)

ロ、英佛の對ソ歩調一致、ソ聯經由獨向輸送阻止(ロンドン同盟)

(5月30日)

ハ、香港當局抑留のソ聯船、佛領に引渡し（ロンドン朝日、同盟）
ニ、獨、蘭印での軍需買付品積出しに苦心（シンガポール朝日）
ホ、芬、聯盟に援助要請（ジユネイヴ同盟）
ヘ、ウエルズ米特使の悲觀報告（ニューヨーク日日）

三十日付夕刊

△概観

本日夕刊は新政府關係と英佛最高軍事會議の二本柱である。新政府成立を前に「讀賣」「中外」「朝日」「都」が新政府關係をトップにおいたのは當然である。「都」の「新政府へ英佛獨經濟代表派遣説」が注目される。「報知」に「米海軍大演習の全貌」で「新政府と觀み合せた暴戻な對日壓迫」の見出しが目につく。

△東亞關係

一、帝國聲明閣議決定、明夕發表
新中央政府成立に當り發表すべし帝國聲明の閣議決定並に明夕發表されることを「讀賣」「都」がトップに他も之に準ずる扱ひをしてゐる。傳へられる聲明内容は大同小異であるが「朝日」「日日」「中外」「報知」が第三國關係に言及を重視してゐるが「日日」の「

新政府承認、列國に要望」、「中外」の「第三國の覺醒要求」の見出しが目につく。
二、汪氏が英佛獨經濟代表派遣説（南京同盟）
三、新政府成立に對し、獨佛英は承認は行はざるも經濟代表を派遣すると觀測される。獨は經濟代表派遣後適當の機會に承認する方針といはれる。米は靜觀態度としてゐる。

四、其他、「阿部全權大使四月一日親任式」、「華北政務委員會あす初會合（臨時政府解消）」
（北京同盟）、「還都妨害に重慶躍起」（上海同盟）

△對外國關係

一、米、クレイギー大使の演説（英の對日接近）重視（ワシントン朝日）

「朝日」は日英協會席上のク大使演説を逸早く昨夕刊で取上げ關心を示したが、本日之に對する注目すべき米の動向を特報してゐる。即ち「英が對日接近策をこるならば日本の支那における行動を抑壓出来るのは米以外にない」と觀念してをり、英の轉換も對獨戰の必要上と見、英は専ら日獨提携並に日ソ接近阻止に重點をおくものと諒解してゐる」といふ。

二、日印通商暫定取極め

朝刊既報の暫定協定成立に對し「中外」「報知」「國民」に印棉買付、對印綿布輸出の増が統制方針があるが同盟記事と思はれる。「朝日」は右取極めで印度側が我が綿布輸出増量を容認したことは改定交渉に示唆を與へたものと注目してゐる。

三、其他、日西通商諒解成立（外務省情報部長談）、訪伊使節團長佐藤大使の親任式舉行、日佛通商交渉再開（パリ同盟）

△歐米關係

一、英佛最高軍事會議（ロンドン同盟、特電）

廿八日開催された第六英佛最高軍事會議終了後コンニユニケが發表されたが本日外電の中心であり、「朝日」「日日」「國民」がトツプに扱つてゐる。宣言内容を要約すれば英佛兩國は單獨講和締結拒否、平和條件討議拒否、戦後も緊密協力といふにある。今回會議の意義として兩國戦争決意強化並にバルカンの攻勢が傳へられてゐる。「日日」バリ電は歐洲聯盟の原則確立との佛半官筋情報を傳へてゐる。また同盟は英のバルカン大公使歸還命令は英のバルカン政策轉換の前觸れと見てゐる。

三、米特使、大統領に復命

イ、米特使の復命は國內的に利用價值（ワシントン同盟）

ロ、米の和平幻滅、ル大統領出馬困難（ワシントン朝日）

ハ、英佛ノ關係悪化せば極東に波及強調説（ワシントン都）

内閣情報部四。一 情報第一號

ドイツ船蘭印脱出を準備

一 同盟來電一不發表一

アムステルダム廿九日發同盟（AP電）

蘭印より當地に達したる報道に依れば戦亂勃發と共に東蘭印度諸港に閉ぢ込められてゐたドイツ船約廿隻は數日來護謨、コブラ、椰子油其他の物資を盛んに積載極秘裡に出帆準備を開始した、同船は蘭印諸港を出帆後はウラジオに入港して後、積載貨物をシベリア經由ドイツ向輸送する筈である、尙之等のドイツ船の中アルトマルク號（七、七五〇噸）、ヒンズブルク號（六、二〇〇噸）、フォクトランド號（六、六〇八噸）は船體を灰色に塗り替へ船名を抹殺してゐると云はれる